



工程改善研修会 活動成果発表会& 次年度参加企業募集のご案内

生産量の縮小や海外との競争の激化により、改善活動の必要性が高まっています。

当センターでは、関東自動車工業(株)(現 トヨタ自動車東日本(株))OBの手代木勝氏を指導者として、「トヨタ生産方式自主研活動」をモデルとした「工程改善研修会」を実施しております。この研修会は、製造業に共通する「いかにムダ・ムラ・ムリ無く合理的に造るか」、「労働強化にならないムダの排除によるものづくりの実現」をテーマに、県内異業種5社をグルーピングし、生産現場を教材とし、各社の課題についてお互いに改善しあう実践形式の研修です。

平成16年度から活動をスタートし、今年度でのべ33社が参加しております。今年度の活動の集大成として、下記の通り成果発表会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。また、今回はトヨタ生産方式の第一人者であるトヨタ自動車東日本(株)名誉顧問の内川晋氏をゲストに迎え、特別講演を行います。自社での改善活動推進の契機として、是非ご参加ください。

また、平成25年度の工程改善研修会の参加企業を募集しておりますので、あわせてご案内いたします。

成果発表会について

日時 平成25年3月12日(火) 13:00~17:00
会場 盛岡市・ホテルルイズ 万葉の間 ※成果発表会終了後、交流会を予定しております

プログラム

13:00~ 活動成果発表会
発表企業 (株)平野製作所(北上市)、和同産業(株)(花巻市)、東北日東工業(株)(花巻市)、(株)本興製工所(花巻市)、(株)小山田工業所(盛岡市)
コメンテーター いわて産業振興センターコーディネーター 手代木勝
 16:00~ 総評・特別講演 「工程改善の大切さ」(仮)
講師 トヨタ自動車東日本(株)名誉顧問 内川晋氏
 17:30~ 交流会 (青海の間)

※参加申し込み・詳細は、別添「平成24年度工程改善研修会活動成果発表会」チラシをご覧ください

平成25年度工程改善研修会募集

募集企業 3社
参加費 無料
対象企業 ①岩手県内に工場がある製造業者
 ②経営トップに高いカイゼン意欲・姿勢がみられること
 ③比較的量産型であること

※参加申し込み・詳細は、別添「実践型セミナー工程改善研修会参加企業募集」チラシをご覧ください

「岩手県医療機器関連合同講演会」報告 技術・機器開発の目指すもの~有効性の証明とは?~

岩手県では、地域企業の医療機器産業への新規参入や取引拡大を促進するため一丸となった取り組みを進めています。それを具体化するため、当センターでは、地域の産学官連携のもとで「いわて医療機器事業化研究会」を事務局として支えるなどの活動を行なっております。また、より開発色の強い研究開発事業である戦略的基盤高度化支援事業(サポイン)や課題解決型医療機器事業の管理法人としても支援を進めております。

平成24年12月7日(金)、ホテルルイズ(盛岡市)万葉の間を会場に、「岩手県医療機器関連合同講演会」を開催し、「技術・機器開発の目指すもの 一有効性の証明とは?」と題して、国立障害者リハビリテーションセンター病院病院長・赤居正美先生に、医療機器開発の視点について根源的なお話をいただきました。

この講演会は、プロジェクトメンバーだけに出席いただく予定でしたが、原稿をいただいた時点で、医療機器開発だけでなく、研究開発を考えるすべての面で参考になることから、短い期間でしたがオープンにして、県内の関係する方にもご案内したところ、37名に出席いただきました。

赤居先生には、岩手県の公募型研究事業である「いわて戦略的研究開発推進事業」の平成24年度採択プロジェクトの一つの「手指機能回復に資するロボット技術援用型ミラー療法システムの開発」でアドバイザーをお願いしています。



また、赤居先生は、リハビリテーションの第一人者であるとともに、次世代医療機器評価指標検討会(厚生労働省)・医療機器開発 ガイドライン評価検討委員会(経済産業省)合同委員会の「活動機能回復装置審査ワーキンググループ座長」として、新しい医療機器の評価について積極的に取り組みされ、さまざまな事例も見ておられます。この講演会においては、医療機器開発における、テーマ設定・進め方についてもお話をいただきました。

開発目標の中で、自分たちの得意な条件は何か。開発目標は、使う人が納得できるものであるのか。つまり、自分たちだけでしか通用しないところで進めていないか、など、アウトカムには2種類あること。また、評価基準として「良い打者とは、打率なのかホームランなのか、はたまた契約金なのか」など、具体的な例を示していただきながらのお話でした。すべての開発に通じる内容であり、これからの研究開発計画立案・運営に役立つものでした。

知財ビジネスマッチング2013が開催されました

1月18日(金)、岩手県工業技術センターにて、「知財ビジネスマッチング2013in岩手」(主催:岩手県、事務局:岩手県発明協会、協力:いわて産業振興センターほか)が開催されました。

これは、日本を代表する大企業等が保有する技術を、岩手県内の中小企業者に紹介すべく開催されたものです。

当日は約90名が出席。はじめに富士通(株)吾妻勝浩氏が「開放特許をビジネスに活かすには」と題して講演。映像を交えながら、自社が持つ特許技術の豊富さ、そして地場企業が活用した事例などの紹介を通し、特許技術活用のメリットを説明しました。

続いて日産自動車(株)、日本電気(株)からそれぞれ保有技術のプレゼンテーションも行われ、出席された皆さんも興味深く聴いていたようです。

各社からの技術展示や、個別相談会も行われました。

今回のイベントをきっかけに、県内企業から、大企業の技術を生かした新しい商品が生まれることが期待されます。



技術展示企業(50音順)

- アーグレイ(株)からだサポート研究所
- 日産自動車(株)
- 日本電気(株)
- 日本マイクロソフト(株)
- 富士通(株)